※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳述政治・経済」（実教出版）						
副教材等	2026 ズームアップ政治・経済資料						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「公共」の発展科目として開設します。倫理、法、政治、経済、社会を体系的に学ぶことを企図しています。
・単に用語を覚えるのではなく、世界の中の政治・経済のあり方についての見方・考え方を働かせて、現代の諸課題を自分のこととして追究したり解決に向けて構想したりすることで、社会の有為な形成者に必要な資質・能力の育成をめざします。そのため、定期考査だけでなく、授業中の取り組み、成果も重視して評価します。
・授業では、倫理、政治・経済ともすべての単元を網羅するように計画しますが、時間の制約から教科書に書かれている事項すべてをとりあげることはできません。教科書を精読して、授業で扱えなかった事項も含め、理解を深める努力をしてください。
・なお、公共で使用した教科書、ワークブック、資料集は、自学自習に活用することができます。特に、政治・経済における時事的な問題を理解しようとするときに参照してください。

2　学習の到達目標

知識及び技能…様々な用語を覚えることで、政治・経済観について、実生活と結び付けて考えることができる力の育成をめざします。
思考力、判断力、表現力等…現代の諸課題に対し、人間としての在り方や生き方と社会の在り方についての見方・考え方を総合的に働かせることにより、合理的意思決定ができる能力の育成をめざします。
学びに向かう力、人間性等…政治・経済の諸問題について、幅広い視点から多角的に考察し、自ら課題解決に向けて選択・判断できる姿勢の育成をめざします。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識及び技能	b:思考力、判断力、表現力等	c:学びに向かう力、人間性等
観点の趣旨	現代社会の諸課題の解決に向けて手掛かりとなる概念や理論などを、法的、政治的、経済的、社会的観点から多角的に理解し、それらを適切かつ効果的にまとめる技能を習得している。	概念や理論などを活用して、論理的に思考し、説明や対話などの活動を通じて、合理的に意思決定ができる能力を身に付け、合意形成や社会参画に向かう力を高めている。	よりよい社会の実現のために現代の諸課題を主体的に解決しようとすることにより、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代日本の政治	現代日本における政治の諸課題 グローバル化する国際政治の諸課題	a:現実社会の諸事象を通して政治に関する知識・技能を身に付けている。 b:政治に関する知識・技能を基に政治参加の在り方について考察、表現している。 c: 考察したことを手掛かりに自分の考えを構築しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
2学期	現代日本の経済	現代日本における経済の諸課題 グローバル化する国際経済の諸課題	a:現実社会の諸事象を通して経済に関する知識・技能を身に付けている。 b:経済に関する知識・技能を基に経済活動の在り方、福祉の向上について考察、表現している。 c: 考察したことを手掛かりに自分の考えを構築しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
3学期	現代の国際政治・経済	現代の国際政治 現代の国際経済	a:世界で実際に起こった出来事を通して政治・経済に関する知識・技能を身に付けている。 b:世界の政治・経済に関する知識・技能を基に政治参加、経済活動の在り方、福祉の向上について考察、表現している。 c: 考察したことを手掛かりに自分の考えを構築しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識及び技能　b:思考力、判断力、表現力等　c:学びに向かう力、人間性等